

きみ かげ ほし 君の影 星のように あさ と 朝に溶けて消えていく  
い さき な 行き先を失くしたまま おも あふ 想いは溢れてくる

つよ よわ 強さにも弱さにも このころ む あ 心は向き合えた  
きみ 君とならどんな あ す き 明日が来ても こわ 怖くないのに

ふたりある とき しん 二人歩いた時を 信じていてほしい

しんじつ うそ 真実も嘘もなく よる あ あさ く 夜が明けて朝が来る  
ほしぞら あさ と きみ かがや 星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

し ゆめみ ひとり さよならを知らないで 夢見たのは 一人きり  
ころ きみ め なに うつ ああの頃の 君の目には 何が映っていたの？

ふたり とき だれ け 二人つないだ時を 誰も消せはしない

こどく いた きみ かん 孤独とか痛みとか どんな君も感じたい  
いちど み あ ねが かな もう一度 見つめ合えれば 願いはきっと叶う

よ あ まえ かげ ほお なが 夜明け前 まどろみに 風が頬を 流れていく  
きみ こえ きみ かお すべ つつ み 君の声 君の香りが 全てを包んで満ちていく

おも で は きみ そら ま あ 思い出を羽ばたかせ 君の空へ舞い上がる  
ほしぞら あさ と きみ かがや 星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

あい 愛してる ただそれだけで ふたり あ 二人はいつかまた会える

きみのかげ ほしのように あさにとけてきえていく  
君 影 星 朝 溶 消

いきさをなくしたまま おもいはあふれてくる  
行 先 失 想 溢

つよさにもよわさにも このころはむきあえた  
強 弱 心 向 合

きみとならどんなあすが きてもこわくないのに  
君 明日 来 怖

ふたりあるいたときを しんじていてほしい  
二人 歩 時 信

しんじつもうそもなく よるがあけてあさがくる  
真実 嘘 夜 明 朝 来

ほしそらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ  
星空 朝 溶 君 輝

さよならをしらないで ゆめみたのはひとりきり  
知 夢見 一人

あのころの きみのめには なにがうつっていたの?  
頃 君 目 何 映

ふたりつないだときを だれもけせはしない  
二人 時 誰 消

こどくとかいたみとか どんなきみもかんじたい  
孤独 痛 君 感

もういちどみつめあえれば ねがいはきっとかなう  
一度 見 合 願 叶

よあけまえ まどろみに かぜがほおを ながれていく  
夜明 前 風 頬 流

きみのこえ きみのかおりが すべてをつつんでみちていく  
君 声 君 香 全 包 満

おもいでをはばたかせ きみのそらへまいあがる  
思 出 羽 君 空 舞 上

ほしそらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ  
星空 朝 溶 君 輝

あいしてる ただそれだけで ふたりはいつかまたあえる  
愛 二人 会